



ネコはイヌではない

A cat is not a dog.

なぜ人はネコに魅力を感じるのか。神秘のまなざし、凜とした気品、気高さ、頑固なまでのマイペース主義、どれをとっても今の私たちが羨ましく感じるもの。尾っぽをふって主人に媚びるイヌとは真逆の性格である。

ネコと人間との関係は、1万年前から始まったといわれる。1万年来から現在に至るまで、人間は進化の過程を経てきたが、ネコは頑固なまでに、ほとんどその性質を変えてはいないのである。その魅力故に、ミュージカル「キャッツ」は、32年もの間、次から次へと新しい人々を引きつけ、9,000回以上の驚異的なロングランを続けている。ネコの魅力とは一体何なのか。

ネコの性格：6つのないない

彼らは、媚びない、群れない、焦らない、そしてあと三つ；人の目を気にしない、腹をたてない、落ち込まない、のである。これを書きながら、ハッと気が付いた。これは人間の赤ちゃんと同じだ！赤ん坊は、泣きたい時に鳴き、人の目を気にすることもなく、もちろん誰かに媚びることもない。ひたすらマイペースで生きている。だからといって周りから嫌われることもない。むしろ愛される。



人間は成長するにつれ、周りを気にして生きるようになる。自分がどう思われるか、どう評価されるか、人の目をたえず気にかけて暮らす。親が子を叱るとき、「みっともない」「人に笑われるでしょ」という。これは物事が本質的に良いか悪いかではなく、他人の目の価値観で判断しているということである。欧米では、人がいないところでも悪いことをすれば、「神さまが見ている」、という言い方をする。この考え方の違いは大きい。

本来人間は自由に生きたいと思う。自由とは‘自分’に‘由る’こと、自分の内から生まれる判断で生きることである。現実、集団社会の中で人は、妥協し、上に媚び、人の目を気にし、腹をたて、落ち込んで日々を生きている。ああ、ネコが羨ましい！本来人間がもって生まれた気質なのに、うまく生かせない。だが、ネコの奴、ちゃんとそのまますべて生きているじゃないか。

ネコが人間の代わりに、人間が生きられない分を生きているとするなら、これからは敬意をもってネコと接しよう、と思う。

<事例 DVD等>

坐禅をするネコ、なまくらネコ

Cat Person vs. Dog Person

ミュージカル Cats / 長老ネコ、ネコはイヌではない

グリザベラ、メモリーを歌う / 天上に上り、新しい人生を

ドラマ『風のガーデン』 / 親子の会話

永遠のゼロ / 宮部久蔵と大石との対等な会話

映画『敬愛なるペーターベン』 / 媚びを売るな！元型売春夫（光）

姉歯一級建築士 / 売春婦（影） / 弱い自分がいた

大河ドラマ / 直江兼続、秀吉に媚びない

マイフェアレディ / ヒギンズ教授とピカリング大佐の違い

歌舞伎の指導シーン / なんと悲しい指導の仕方

やなせたかし / アンパンマン / 子どもにも大人のコトバで

映画『Little Miss Sun Shine』 / 子どもにも対等な会話を

映画『海へ』 / 日本では見られない光景

大河ドラマ『龍馬伝』松平春嶽が問う、お前は何か？

歌・絢香 / I Believe

